

ISEのスケジュールされたバックアップ障害のトラブルシューティング

内容

[お問い合わせ内容](#)

[環境](#)

[解決策](#)

[原因](#)

[関連コンテンツ](#)

- [お問い合わせ内容](#)
 - [環境](#)
 - [解決策](#)
 - [原因](#)
 - [関連コンテンツ](#)
-

お問い合わせ内容

Cisco Identity Services Engine(ISE)は、スケジュールされたバックアップの生成を停止します。自動バックアップは生成または保持に失敗し、システムの回復に必要な構成バックアップを作成および保存する機能に影響を与えます。スケジュールされた自動バックアップとGUIを使用した手動バックアップはどちらも失敗し、バックアップの信頼性とシステム・リカバリの準備に関連するビジネス・インパクトが生じます。

環境

- パッチ3より前のCisco Identity Services Engine(ISE)バージョン3.3、3.4、および3.5
- 設定されたスケジュール設定および/または運用バックアップ
- テレメトリ対応

解決策

1. Cisco ISE CLIにアクセスし、コマンドapp configure iseを実行します。
2. オプション23を選択して、診断用のスレッドダンプを生成します。
3. プライマリ管理ノードからサポートバンドルを収集し、ログが過去10日間をカバーしていることを確認します。
4. 10日間のise-psc.logで、DefaultQuartzScheduler_Worker-の後に番号1 ~ 10が続くエントリを確認します。



注：これらのワーカースレッドの1つは、残りがなくなるまで毎日消えます。これは、スケジュールされたジョブが実行されなくなったことを示します。

-
5. catalina.outで、com.cisco.cpm.infrastructure.telemetry.api.TelemetryJob.executeを含む行を検索します。
 6. テレメトリジョブ実行行が存在する場合、Cisco Bug ID [CSCwr39748](#)を特定します。
 7. ISE GUIでAdministration > System > Settings > Network Service Diagnostics > Telemetryの順に移動し、テレメトリ機能を無効にします。
 8. プライマリ管理ノードをリロードして、現在スタックしているスレッドをクリアします。

原因

根本原因は、Cisco Bug ID [CSCwr39748](#)です。この不具合が原因で、DefaultQuartzScheduler_Workerスレッドが日次テレメトリサービスによってブロックされます。これらのスレッドはリリースされず、10個のスレッドがすべて使用されて、スケジュールされたアクションの実行が妨げられます。catalina.outログにcom.cisco.cpm.infrastructure.telemetry.api.TelemetryJob.executeという行が存在する場合、システムが影響を受けていることが確認されます。

関連コンテンツ

- [Cisco Bug ID CSCwr39748](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。